

# 阿蘇農業協同組合

所在地：阿蘇市一の宮町宮地 創業：24年  
事業内容：農業（選果作業）  
従業員数：442人（うち外国人38人）

地域住民との交流により、日本語能力が向上し、仕事も円滑に。また、住民との関係も良好になり、在留資格満了まで働き続けたい意向。母国の家族ともオンラインで連絡が取れ、ホームシック等が減少。また、清潔で住みやすい住環境が提供され評判は良好。

## 特定技能

### 外国人材の受入の目的・きっかけ・課題

#### 慢性的な人手不足解消

- 慢性的な人手不足解消のため、特定技能制度が始まった2019年に県内JAで初めて特定技能外国人の受け入れを開始した。
- 特定技能外国人の定着促進を図るため、就労や生活環境整備の支援などの取組みを実施。

### 取組の効果

#### 外国人材の定着促進

- 受入外国人は、交流会等への参加により、日本語コミュニケーション能力が向上し、仕事も円滑に行えるようになった。また、地域住民との関係も良好になり、在留資格満了まで働き続けたい意向。
- ネット環境を整備したことで母国の家族ともオンラインでコミュニケーションが取れ、ホームシック等が減少。また、清潔で住みやすい住環境が提供され評判は良好。

### 外国人材が働きやすい環境づくりへの取組み内容

#### 地域住民との交流

- 交流会への参加や生活オリエンテーションの開催により、日本文化の理解が進み、地域の生活に馴染むことができる機会を積極的に提供。



七夕祭りの経験

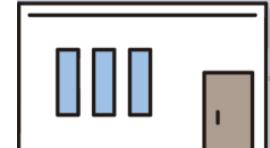
#### 生活環境の支援

- 生活用品等の提供やネット環境（WI-FI）の整備などにより、日常生活の充実を支援。



#### 住居の確保

- J A阿蘇が所有する建物を宿舎として改修し、住環境を提供。2024年には特定技能制度による外国人労働者の受け入れ拡大と生活環境の改善を目的に、外国人労働者向けの宿舎を新設した。



#### 周年雇用環境確保

- 高冷地と平坦地(八代市)等の繁忙期の違いを利用し、農閑期の産地から農繁期の産地へ特定技能外国人を融通することで、出荷ピーク時の労働力確保と周年雇用体系の確立を図った。